

迎春



町報



とらとら

昭和57年新年号

第365号

新春を迎え



町長 木村 誠

生きる喜びを
分ち合う

町づくりをめざして

輝かしい新年を迎え、心からお慶び申し上げます。
新しい昭和五十七年は、行財政の面では、極めて厳しい年であると思われま

国は、「増税なき財政再建」を施策の中核として、ここ数年の財政危機を突破するため、昨年末、重大な決意をもって行政改革関連法を成立させ、本年がその実施、第一年目にあたりま

国民生活の各分野にわたり、一時的にせよ、齊しく痛みを受けることは不可避となりました。

大方の事情は新聞、テレビを通じてご承知かと存じますが、国内的には、国債残高八十二兆円にも及ぶ財政赤字の累積が生ずると共に、人口の高令化、急速な都市化の進行から派生する諸問題と、生活不安が重なり、他方、国際社会は、資源エネルギー危機の増大により不安定の度を強める一方貿易摩擦の発生、東西関係緊張の高まり等、わが国をめぐる国際環境はいよいよその厳しさを増しつつあります。

政府は全国の自治体のみならず国民、企業、各種団体に対しても高度成長期以来のダ情を断ち切って行政への依存体質を改め将来における活力あるわが国、社会を築き上げるための決意と協力を求めています。

町民の皆様方におきましても、医療年金等において幾らかの影響を受けることが憂慮されますが、国家百年の大計に誤りなきを期するため、自らの生活を引きしめ、この国家の危機を克服していかねばならないと存じます。

一方、町財政におきましても、私が町長に就任した、昭和五十年以降、慢性的な財政難にあり、これまで政策実現に必要な財源確保に努めてきましたが、幸い町民各位と議会のご支援により企業誘致を除いては概ね順調な実績をあげ得ることができ、ご協力に感謝いたしているところであります。

私は町長就任以来一貫して「公平平等の原則」を町政の基本理念とし、誰もが平等に東郷町に生きる喜びを分かち合うことができる

町づくりを旨としてきましたが、将来をもこの理念を標榜し、その目的を達成するため最善の努力を行う所存であります。

今回の国の行政改革にあたって本町が現在施行している事業を進めて行く上に大きな支障はないものと思っておりますが、地方の時代といわれる今日、町民のニーズは質量ともに高度化し、その財政需要はおびただしいものとなりこれに積極的に応えるための独自の財源は、このところ当分底をついていない状態の中で、町債の発行にも限度があり、健全財政を考

ながらの行政運用は、容易なものではないのでありますが、新たな時代にふさわしい適時適切な行政の展開を行い、後世に悔を残さないものにしなればと決意を新たに致しております。今後も私の行政執行の五つの基本目標に沿って財政投資を行っていきたくと思

います。即ち、農林業の振興は、本町の基幹産業として、行政の最優先に位置づけを行っておりますが、目

まぐるしく変遷する国の施策の中で町独自の判断を加えながら、農林業の育成振興に努めねばならないと思っております。

先づ、基礎的な条件となる基盤整備事業は、昭和五十四年から本格的な取り組みを行い、農村総合モデル事業、山村地域農林漁業特別対策事業、地域農政特別対策事業、農業構造改善事業、暖地営農村づくり事業、県営ホ場整備事業等、規模の大小はありますが、可能な限り短期間の完成をめざして作業を進めております。もちろん、この制度事業の中味は、基盤整備と共に農道整備等は集会所建設等、多数の農林関係事業が含まれており、関係受益者の協力が必要でありますので、事前に緊密な協議を行い、予定どおりの進行をお願い致したいところであります。

又、新林業構造改善事業は、本年より六十一年にかけ、総額五億八千万円をもって林道開きから体育館等の建築を行うことに致しております。

教育施設の整備充実については特に施設は均衡と近代性に配慮してきたところであります。

残された越表小学校の改築は本年実施の考えでありますので、これをもって、本町の七つの小中学校の校舍改築率百％となります。

又、長い間論議されて参りました坪谷中学校越表分校は、過疎化進行のため、校区住民の方々のご理解のもとに本年坪谷中学校に統

合することに致しました。施設整備に併行すべき教育内容については、智育、徳育、体育のバランスのとれた教育効果のあるよう、出来得る限りの措置を講じていきます。

企業誘致の主目標である東洋工業のことにつきましては、昨年誤まった内容の新聞報道等があり、大変迷惑をおかけしましたが、町議会の企業誘致特別委員会に引き続き、県の商工労働部長と私が広島本社に向向し、東郷町立地の方針に変わりないことを確認いたしました。しかしながら、東洋工業は世界の企業として厳しい国際情勢の中で存立しており、長期の経済見通しに立って、東郷町に立地する工場の種類についても慎重な計画検討が行なわれているようでありま

すので、今しばらくの時間を必要とするようであります。

最近役場の事務も多くの制度事業をかゝるごみ、その内容も複雑多岐となりましたが、これ以上の職員増員は住民負担につながることを考えまして比較検討の結果電算機を導入し、事務処理を合理化すると、もに重点部門への職員配置を行い、住民サービスの充実と向上をはかりたいと思っております。

何卒本年も変わらぬご支援をお願い申し上げますと共に、年の始めに当り、私の所信の一端を申し述べ、皆さまのご多幸をお祈りして新年のごあいさついたします。



議長 矢野 貞夫

年頭にあたり

輝かしい昭和五十七年の新春を迎え町議会を代表して謹んで新年のごいさつを申し上げます。

顧り見ますと昨年の我が国の行政をめぐる諸情勢は近年大きな変革を示し国内的には経済の高度成長から安定成長への移行過度で国債残高約八二兆円、地方債に於いても三二兆円に及ぶ財政赤字の累積が生じ、人口構成の高度化、価値観の多様化、そして全般的な不況ムードの進行が進む中で、国際社会では多様化、不安定化の度を強め、資源エネルギー制約の顕在化、諸種の経済摩擦の発生等、我が国をめぐる経済環境は厳しさを増しております。そうした中で行財政改革をめざして五十七年度予算から第二臨調の答申に添って五十九年度まで、増税なき行政改革予算が組れ、こうした情勢の中で本町の財政状態も極力きびしい状況にあります。そうした中で執行当局の積極的な財政運用と制度事業の導入で町民の行政需要に応じた道路網の整備、学校施設の充実



教育長 木村 映一

年頭のあいさつ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

本年は、国の行財政の改革を基調とした行革関連特例法の成立によって新たな試練の年を迎えましたが、このような国の深刻な事態を十分認識し、地方自治の本旨である住民の福祉増進のために、効率、適切な運営がなされているのか、最少の経費で最大の効果を挙げているかどうかの見直しをしながら、本年度の教育行政を進めたいと心を新にしているところであります。

人間の回復ということが提唱されて久しくなりますが、全国民の願いにもかわらず、公徳心、協調心、奉仕の心などがうすれ、青少年の非行も相変わらず後を断たないばかりでなく、特に、昨年は全国的に校内暴力や家庭内暴力が激増し、憂慮されていることは誠に残念なことでありま

す。

近年、家庭が人間形成の場として、その機能を果たしていないと言われていますが、丈夫な苗を育て、たゆまぬ努力があつてこそ、秋の稔りがありますように、青少年の健全な育成こそ町をつくり、国の繁栄をもたらす基盤であります。

学校教育では、新しい学習指導要領によって、ゆとりのある充実した学校生活の中で、豊かな人間性の開発と、自ら考え、正しく判断できる児童生徒の育成をめざし鋭意その努力がつけられています。勿論このことは、先生方の教育愛と創意工夫によって支えられるものであります。さらに、家庭や地域社会との連携と協力によつてこそ実現するものと確信いたします。従来にましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

年末年始は、一年中で一番血液の不足する時期です。今どこかの病院であなたの血液を待っている患者がいます。本町の最大の協力団体である町消防団が、昨年、県健康づくり大会において知事の感謝状を授与されました。

今どこかの病院で

献血は誰れにでもできる人助けです。健康な方は是非献血してください。町献血推進協議会では次のとおり献血を実施します。

- 日時 1月6日
- 中央公民館 10時～1時30分
- 豊協東郷支所 2時～4時

社会人としての スタート 1月5日成人式

おめでとう、二十歳。民法第三条は「満二十歳ヲ以テ成年トス」と定めており、法津上独立の社会人としての地位が与えられます。二十歳になったみなさん、今年一人の社会人として、新しい門出の年です。大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます。国民の祝日である「成人の日」には、新しい時代を担う若いみなさん方への熱い期待がこめられています。そうした社会の期待にどうこたえていくか、これからの課題といえるでしょう。今年の該当者は、昭和三十六年

四月二日から昭和三十七年四月一日までの間に生まれた人です。当日は町の定めた祝日です。国旗を掲げて、みんなで祝福しましょう。

▼寺迫 黒木芳朗 河野信尚 橋口和仁 植野早百合 高瀬和子 河野正一郎 黒木和彦 野別真津代 河野良弘 新名昭仁 吉岡光男 黒木剛 黒木啓二 黒木克彦 黒木正二 安藤広信 安藤光春 安藤律子

▼福瀬 直野光高 松本都代 直野彰子 直野義晴 直野理恵子 直野広代 直野たえ子 夏田敦恵 川越新一 小林奈緒美 高木秀俊 長渡清照 田邊道徳 糸平孝夫 海野和弘 岩田義文 海野秀 高尾浩二 岩本秋利

金丸香代 高瀬清徳 岩田美智子 金丸美雪 新名美穂子

▼小野田 橋口孝広 橋口八千代 畠原智裕 海野洋美 都甲勉 西田常義 若林久美 高森真二 木村公美 舛田博文 畠原昭彦

▼鶴野内 矢野一彦 渦尾由美 福谷良人 福谷建一 糸平宗利 寺原映子 寺原康夫 吉野彰仁 渦元孝美 中田久美子 塩月京子

▼迫野内 甲斐利郎 吉元留美子 山田幸折 黒木光一 佐藤純子 関口一美 舛田良子

▼八重原 伊東綾子

▼田野 吉田敬二 中野恵子 寺田重子 稲田一喜 磯貝由雄 稲田貴美子

▼羽坂 山本栄喜代 寺原正二

寺原正伸 橋口公治 佐藤繁勝 橋口正代 那須テル子 寺田公洋 深田由美

▼仲深 那須聖二 那須千枝美 三浦練一 三浦裕子 三浦真悟 三浦光 水野順一 水野清一郎 水野弥生 水野春男 黒田一喜 吉野厚子 川島溝成

▼坪谷 黒木富子 中野謙 矢野澄代 富山美紀 甲斐誠 矢野由美 田中敬吾 稲田幸人 野口浩 永野広子 矢野達朗 矢野史則 弓場初子 甲斐祐子 海野幸一

▼越表 上原弘行 海野憲明 菊池初子 新野稔 黒木さえ子 川崎えみ子

▼下渡川 山床久雄 山床きみ子

点描 (6)

小野田の農家のAさん(五二才)は十年前より、毎朝食卓につくと自分から「オハヨウ」と声をかけます。家族の者は「オハヨウゴザイマス」と交し合っています。なんと美しい朝の風景ではありませんか。Aさんは私に「前の日にくしゃくしゃした事があった、気分がすくれない時等この朝のオハヨウの挨拶の交かんで気分一掃、晴れ晴れとする事もあります。それに一番よいことは、子どもの朝の笑顔です。そして元氣よく「行

って来ます」と大きい声で学校へ出かけてます。私はこのAさんの話を聞いて嬉しかったです。私は大きい反省をさせられ、私の家だけでなく小野田区全世帯に呼びかけて「オハヨウ運動」をはじめたのです。小野田公民館運動の一環としても取上げたのです。既に三年目に入りました。二三〇世帯の約半数五三%位が毎朝かわしているか、どちらかといへばする方が多い割合になっています。小野田の場合を考察して見ますとあの家はやっていないだろうと思っ

ていいる家でもやっていない家もあ

ります。お父さんがたった一言「オハヨウ」と呼びかけることが大変なことなんでしょうか? 毎朝この言葉を交すことによつて、一日の初まりの紛れが出来る

オハヨウゴザイマス

しては子どもが見ながへる様に変った例もあります。又お父さんがよく晩酌をして朝もぶすつとした顔をしていたが、このオハヨウ運動で朝の顔色が変わって来た話も聞きました。どんな家庭でも小言の一ツや二ツはあります。晴れた日も曇り日もあります。だが朝のこの「オハヨウ」の一声で前の日の暗い気持は一切無くなってしまいます。喜ぶのは子どもです。子どものしつ

「父さんもお母さんもやさしいなあ、いいね」と口にくそ言わな

い、心の中ではそう思っているにちがいないと思います。子どもはお父さんお母さんにウソを言へなくなるのです。何んでも話をする様になるのです。つまり素直な子どもになるのです。人に対して挨拶の出来ない人間ほど可愛想なことは無いと思います。朝の明るい挨拶の交かんで、一日のスタートいや人間一生の幸せが生れると思つて、実行に踏み切つて下さい。

社会教育委員 都甲鶴男

わたしもぼくも 一年生

町教育委員会が昭和五十六年十一月一日現在の住民基本台帳により調査した、昭和五十七年度新入学の幼児(昭和五十年四月二日から昭和五十一年四月一日生)は次のとおりです。なお、名前が掲載されていない幼児については、保護者が直接教育委員会に申し出てください。

- ▼寺迫小学校
- 地区 就学予定児 保護者続柄
- 寺迫 海野 友 誓 生長女
- 橋口 恵子 さよ子二女
- 橋口 典子 克 義長女
- 黒木 千穂 喜 長長女
- 橋口 功 忠 勝三男
- 山本 美樹 憲 昭長女
- 黒木 慶一 慶 司二男
- 黒木 丈二 満 壽美二男
- 黒木 与弥 与 吉長男
- 黒木 啓一 正 弘長男
- 黒木 博利 富 男長男
- 黒木 智子 正 人長女
- 黒木 陽一 暎 憲長男
- ▼田の原分校
- 寺迫 安藤 賢次 政 廣二男
- ▼福瀬小学校
- 福瀬 藤本まゆみ 純 一長女
- 直野 大 勝 則長男
- 鶴田めぐみ 吉 則長女
- 小林 智 健 司二男
- 田邊 亜紀 英 雄長女
- 新名麻衣子 敏 文長女
- 森西 信一 實 二男
- 長池 伸之 伸 喜長男
- 黒木 由紀 金 市二女
- 黒木 千洋 千 藏長男
- ▼坪谷小学校
- 仲深 渡邊由希子 太 二女
- 渡邊亜希子 太 長女

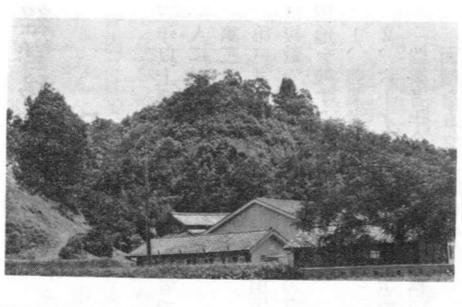
- ▼東郷小学校
- 小野田 谷口 仁 俊 廣長男
- 塩月 彩 悌 二二女
- 川本 友美 正 雄長男
- 那須 礼史 文 美二男
- 高森 恵実 長 久長女
- 川邊 和成 勝 二男
- 山口絵理香 幸 男長女
- 池田 幸子 正 信二女
- 大賀 麻生 敏 廣長女
- 海野 靖幸 幸 育長男
- 菊池 俊行 健 一長男
- 岩見 新 次 夫二男
- 塩月 昇 光 喜二男
- 寺原多加広 忠 男長男
- 中森 愛 哲 男長女
- 坪谷 大石 亮 喜 太男長男
- 森田 徹 正 雄長男
- 矢野 秀峰 統 長男
- 阿万 大助 貞 男四男
- 富山 兼光 啓 二長男
- 三浦 圭史 正 教二男
- 井伊 睦彦 正 信三男
- 伊井 一彰 守 長男
- 寺原 初男 夕 夫二男
- 稲田 和久 邦 夫二男
- 中川 洋 雄 一 二男
- 越表 山床 秀一 直 二男
- 後藤 健一 喜 一長男
- 山里 建博 榮 司長男
- 海野 和代 正 一長女

文化遺産の旅 ⑫

東郷町坪谷本村の小高い山の頂に在り、面積約六二アールで現在三島神社が祭つてある。伊藤義祐の日向四八城の一城で永禄十一年(一五六〇年)に米良休助を城主とした。

米良休助は木崎原の戦に四〇〇名の手兵を率いて出陣し、部将米良少輔、野村新左衛門尉と共に戦死した。この三名の墓石は小村市の「伊東塚」に現存している。

休助没後の城立は松尾下総守であるが、天正六年(一五七八年)の島津、大友の耳川の戦の



実際に島津義久に亡ぼされた。城跡には井戸の跡のみ残っている。現在は民有地になっている。

農委だより

農業委員会のしごと

農業委員会は、公職選挙法に基づき選ばれた委員と議会や農協などの推せん委員から構成されており、農地をあく行政機関としての機能、農政の普及推進機能、農業者の利益代表機能という三つの役割を兼ねそなえております。とくに、農地の権利設定や移転の許可、転用許可、標準小作料の決定、農地等の利用関係の紛争についての和解や仲介、また農地についての相続税、贈与税の特例適格者証明書等の交付についての役割はみなさんご存知のことと思います。

又農地にかかわる諸法律に対応して、農地事務の適切な処理に万全を期するとともに権利移動の適切な指導により優良農地を保全し農業経営の安定向上をはかり農業生産の基盤となる農地の番人といふべき役割を果しています。

このほか農業経営や農家生活安定のための重要な仕事を担っています。これからの農政の展開、実施は農業者自らの創意と自主性をもりこんだ農政でなければなりません。農業委員会は、永年「土地と人」対策に取り組んできた実績と機能

をいかし、農家のみなさんとより多く話し合いの場を持ち、さまざまな日常活動により問題の解決に取り組んでいます。

農地の売買は

農業委員会のあっせんで

農地を「売りたい、貸したい」と希望する農家に対し、農業委員会が間に入って「買いたい、借りたい」という人にあっせんし、農業経営の発展に結びつくよう農地を移動させようという制度があります。

この農業委員会のあっせんで農用地を売買した場合には税金や融資について大きな優遇措置があります。また、貸し手に対しては奨励金が交付されるという制度もあります。

このあっせんを希望する農家は農業委員会へ申し出ることになりますが、あっせんの対象になる農地は、農用地区域内の農地に限られています。

また、実際の売買が決まっているものは、あっせんの対象になりませんが、あっせんにした土地を形成し、その後、あっせんの対象になる土地に転用された税金を納めることとなりますので注意して下さい。ですから、農地を売りたい人

農地の転用は許可を得て

農業委員会のあっせんで

たは買いたい人は、あらかじめ農業委員会に意向を伝えておいて、農業委員会のあっせんを活用していくことが大切です。

農業委員会によるあっせんにはこの他にも、小作料の一括前払い制度や農地の買い換えの特例などの優遇措置があります。お気軽に農業委員会へお問い合わせください。

- ▼譲渡所得税の減免
五百万円を特別控除
(一般百万円)
- ▼離農給付の支給
離農する場合に、六十二万円を支給
- ▼融資(農地取得資金)
限度額一千万円
(年利3.5%、25年償還)
- ▼登録免許税の軽減
一般5%を0.9%に
- ▼取得税の減
農地価額の三分の一を課税対象から控除する

農業者年金

経営移譲年金は、六十才から六十五才まで支給されるたいへん有利な年金です。したがって年金に加入している人なら誰もがもらいたい年金であると思えますが、この年金は、経営移譲をすることが支給の条件になっているので、移譲をする人は、後継者が第三者に農業経営を移譲することになります。これは次のような方法です。

経営移譲の終わる一年前の日(基準日)というに自分名義の農地面積が三十アール以上ある人が、基準日以降一年間に買入れたり戻ってきた農地も含めて、後継者か第三者(他の農家など)のいずれか一方に、農地法の手続きをとって適格にその権利を譲渡したり貸したりして、農業経営から引退をすること。

自作地
相手方に譲り渡すか、貸す(所有権の移転が使用収益権の設定)小作地
相手にその権利を移すか、地主に返す(使用収益権の移転か消滅)後継者移譲のときの相手は経営を譲って引退しようとする人の直系卑属(子や孫)のうち、経営移譲の終わる日まで引き続き

経営移譲は

三年以上農業に従事していた者で一人に限られる。

- 1、農業者年金の被保険者
 - 2、六十才未満の農業経営主で農業者年金に加入する資格の面積をもっている人
 - 3、農業者年金基金等
- 以上が経営移譲のあらましですが、特に次の点には注意してください。

- 1、使用収益権の設定にあたっては、その権利の存続期間が十年以上であること。
- 2、経営移譲は、農地を農地として移譲することが原則である。したがって、基準日以降に転用目的での農地の処分がある場合、適格な移譲にならない。

いつから支給されるか
経営移譲年金は、六十才から支給されることから経営移譲の問題がなければ、六十才の誕生日を迎える一ヶ月二ヶ月前に農業委員会が経営移譲の許可を受けておくこと六十才から年金が支給されることとなります。

全国の「東郷町長」集う

—鳥取・愛知・宮崎・鹿児島—



このほど、全国に四つある「東郷町」の町長が、東京・渋谷の「東郷記念館」で一堂に会し、親睦と交流を深めました。

四つの東郷町は、鳥取県東伯郡東郷町・愛知県愛知郡東郷町・鹿児島県薩摩郡東郷町に本町の4町です。

一昨年から鳥取県東郷町の呼びかけで、広報の交換を行ったり、特産品を贈ったりして交流していましたが、全町長がそろうことはなく、たまたま12月3日、全国町村長大会が開かれるのを機会にぜひ集まろうと一堂に会したものです。

当日は、各県東郷町の概況を説明し、今後の活動など話し合うなか「自分の町を見直し、住みよい町をつくろう」と、今後の交流と親睦が確認されました。

- <東郷町ミニ概況>
- 鳥取県東郷町
「ナシと温泉と湖の町」がキャッチフレーズ。ナシの生産量は県下1位。人口7,400人。
 - 愛知県東郷町
10年前町制をしてから人口が急増、21,000人で名古屋のベッドタウン。
 - 鹿児島県東郷町
ミカン、ウナギの産地。菅原神社が観光地として有名。人口6,500人。



映画「典子は今」の益金を寄付

12月14日、老人福祉館において身障者協議会会長佐藤光男さんに映画「典子は今」の益金十二万七千九百五十五円が送られました。

これは、国際障害年をきっかけに障害者問題を町民の皆さんに考えてほしいということから「典子は今」を見る実行委員会をつくって11月13日に上映したものです。

実行委員会は、町の身障者協議会・町青年団・町婦人連絡協議会・日向地区労働東郷支部で組織され当日は町体育館に約七五〇名ものみなさんの参観を得ました。

実行委員会では「身障者問題を特別視することなく、人間として完全平等と完全参加の社会をつくる」ことが必要と考え、今後ともあ

駐在所だより

ゆる機会を通じて訴えていきたいと考えています。今回は、町民のあたたかい心を寄付させていただきました。と語ってました。

おめでとうございます。

私は昨年、役場で上映された、「典子は今」という映画を見て、心から泣き、一種の感動を覚えると共に、人間はどんな環境に立っても、やれば何んでもできるという強い信念のようなものを感じ、健康な者は一層の努力をしなければいけないということを痛感しました。

さて昨年は、世界的に見れば、ポーランドの政変から障害者と世界的な行事も進められたのにもかかわらず発展途上国などにおいては、一日に四万人もの子供や幼児が飢死するという誠に今の日本では想像もできない暗いニュースなども聞きました。

一方、国内的にも、それこそ種々なでき事もありました。中でも私が特に気を引きつけられた出来事は、一般犯罪もさることながら、青少年の遊戯型非行の激増で国においても、担当大臣に対し、青少年の非行防止についての答申が求められる状況になり、もう一刻もなおざりにしておくことができないところまで来ていると言うことを感じました。

少年非行は、国、県、市町村といずれも多くなり、東郷町においても増えています。具体的な数は判っていませんが、シンナーの吸引やたばこ、飲酒、無免許、夜遊びなど、大きな非行の原因となる事件もかなりありました。

めざましく発達する産業、文化等の中で、有り余る食糧やはらぐる衣類等の恩恵からか、物を大切にす心、汗を流す勤労の喜びなど忘れ、更には親に対する恩や目上に対する礼を忘れ、自分のことだけに集中する風潮が見られるようになってきました。これは東郷だけの問題ではありませんが、このような物の考えが、そばにあるものは親でも使え式で、歩くのが「よだき」から、そばにある、人の自転車に勝手に乗って行くといった、遊戯型の非行につながって来るのです。

子は親の後姿を見て大きくなると言われます。東郷町の子供達は非常に純真なところがあるため、少しの誘惑に負けるようなところが多いようです。

あの子も、この子も、みんなの子。私たちの次代を担ってくれる子供達の健全な育成こそ間にとっても大きな事業の一つだと思います。

なお、交通事故も、東郷駐在所管内だけで、七〇件も発生しました。みんなで注意しながら、事件事故のない、明るい町づくりをしようではありませんか。



おしらせ

幼稚園児募集

東郷・坪谷・寺迫幼稚園の園児を次のとおり募集します。
希望者は早目に町教育委員会事務局に申し込んでください。

▽入園資格
町内の通園可能な地区に居住する満4歳と満5歳の幼児(昭和51年4月2日から53年4月1日生)但し、坪谷幼稚園は5歳児のみ募集します。

▽入園申込
入園申込書が教育委員会事務局と各幼稚園に準備してあります。

▽申込締切日 57年2月20日

▽入園決定 3月中旬までに各人宛通知します。

1月15日成人祝賀

ロードレース大会

東郷町陸上競技協会主催の成人祝賀ロードレース大会が開催されます。
このロードレースは昨年からは

められ二回目ですが、この大会は成人の日を祝い、それぞれが体力に応じて競技に参加出来るように千メートルから一万メートルに分けられ、学年別・男女別・年令別に走る距離が決まられています。あなたのペースで参加して下さい。

▽期日 57年1月15日(金曜日)
▽参加申込 陸上競技協会事務局

- ・自宅 福瀬 四三一九 仁田弘幸
- ・勤め 山陰郵便局四二〇四二

衛生だより

成人病教室

日時 1月12日 9時から
場所 中央公民館

母子相談

日時 1月26日 9時から
場所 老人福祉館

母子手帳を忘れないように!

書初展の募集

町教育委員会では、1月14日(17日まで実施)する小中学校書初展に併せて、一般からも募集します

▽展示期間及び場所
1月14日~17日 町中央公民館

▽提出要領 用紙は風信紙又は半紙とし、題材は自由、一人一点

▽提出期日 1月13日午後5時迄
に町教育委員会事務局に提出

(出品された作品は参考作品とし無審査とします)

1月6日消防始式

五十七年の消防始式は、一月六日(水)午前七時四十五分から町総合グラウンドで開かれます。
このため、当日は各部とも団員不在になりますので、火の取扱には充分気をつけてください。

身体障害者相談員決まる

身体に障害のある方の福祉の増進、更生のための相談員が次の通り決まりました。

- 鶴野内 佐藤光男
- 仲深 三浦淳

民生児童委員かわる

坪谷矢野文雄・追野内歌津博両氏辞任に伴ない次のかたが就任しました。

- 坪谷 矢野賤夫
- 追野内 黒木均

御寄付御礼

昭和五十六年十一月十七日から十二月十六日までの間に香典返しとしてつきのかたから社会福祉のため御寄付をいただきました。
亡くなられた方の御冥福を謹んでお祈り申し上げますとともにここに厚くお礼申し上げます。

- ▽寺迫の黒木満寿美さんから(ユキさん六十三才ご死去)
- ▽仲深の若杉善男さんから(シズエさん七十五才ご死去)
- ▽鶴野内の綾 敬さんから

(ヒサエさん六十二才ご死去)

▽田野の谷口シズエさんから(久雄さん六十三才ご死去)

▽坪谷の甲斐 実さんから(マツさん八十四才ご死去)

▽福瀬の糸平政夫さんから(和太郎さん九十二才ご死去)

心配ごと相談所案内

町社会福祉協議会ではどんなことでも相談できる心配ごと相談所を開設しています。

開設日 第三次曜日
時間 午前九時~午後三時
場所 老人福祉館

行政相談

毎月第三次曜日を定例行政相談日として国県町等の行政全般に亘って苦情要望意見などがある場合相談に応じております。
お気がるに相談下さい

東郷町行政相談委員
山口 俊一

まちのうごき

人口	6,546人	(△7)
男	3,171人	(△4)
女	3,375人	(△3)
世帯数	1,771戸	(△3)
56年12月1日現在		
()は対前月比		

戸籍だより

10月届分

出生おめでとう

赤ちゃんの名	父の名	住所
本多 悠馬	二 梯	小野田
戸澤 美穂	久 利	小野田
春木 希重	重 行	追野内
井伊 加陽子	守 坪	坪谷
赤松 郁美	春 義	寺迫
林 幸広	正 美	小野田

結婚おめでとう

氏名	名	住所
那須 藤和	二 子男	追野内
佐野 野榮	子 勝	日向市
直野 野代	子 義	福瀬
三原 由忠	子 美	福瀬
川口 信美	子 美	福瀬
直野 月信	子 美	福瀬
高野 利美	子 美	福瀬
緒方 喜美	子 美	福瀬
緒方 喜美	子 美	福瀬
歌橋 津喜	子 郎	追野内

ご冥福を祈ります

氏名	年齢	住所
長友 マツノ	70	羽迫
黒木 武雄	63	寺迫
黒木 文次郎	85	鶴野内
渡部 文次郎	85	仲深
荒砂 キク	91	羽坂
日吉 太郎	60	田野
黒木 ハナエ	65	田野
歌津 浩美	19	追野内
橋本 喜多治	80	八重原
清水 タメ	91	羽坂